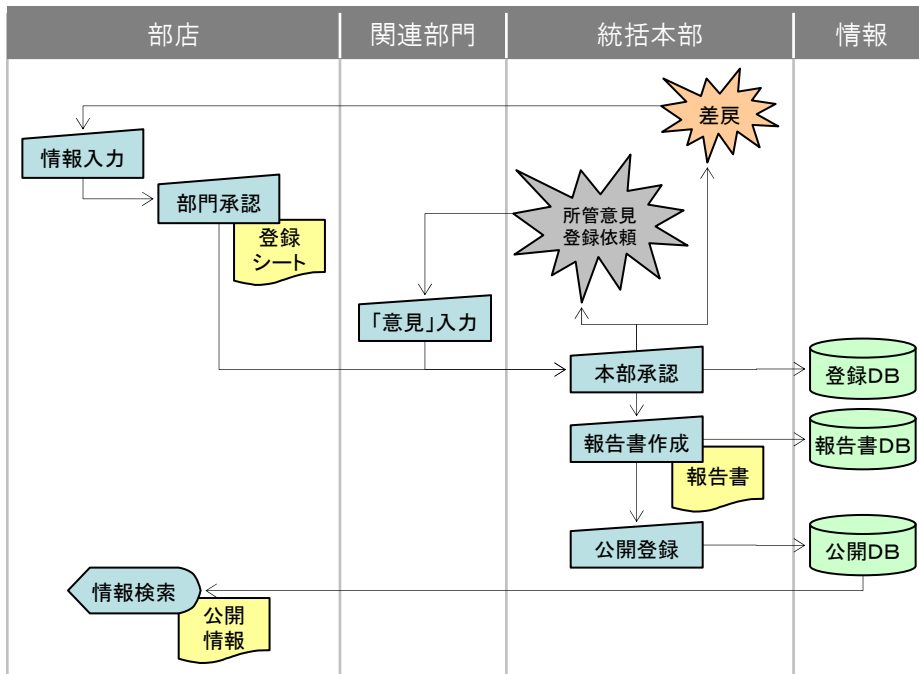


e-VoiceEX

金融機関および企業様内の
本部と他部店間の情報伝達ツール

e-VoiceEX 情報伝達の基本的な流れ



本部と部店間に

- ・必要な情報が
- ・必要な人に
- ・迅速に、漏れ無く、正確に
流れるようになります

WebAction管理システム
e-VoiceEX

金融監査マニュアル
評価項目に対応可能

苦情情報の報告から取り纏め

- ①お客様からの苦情情報とその原因、及び対応・対策内容を本部に報告
- ②本部では関連部門の意見を含めて取り纏めを行い、委員会、経営に報告
- ③苦情の内容によっては、必要に応じて他部店へ公開

顧客保護等管理態勢

- ・顧客苦情、相談等情報管理を行い、不適切な対応、放置を防ぐ方策を講じているか
- ・再発防止策の検討不備から起こる同様事象の発生を防ぐ施策を実施しているか

事務ミス情報の報告から取り纏め

- ①発覚した事務ミス情報とその原因、対応及び再発防止策を本部に報告
- ②本部では関連部門の意見を含めて取り纏めを行い、委員会、経営に報告
- ③事務ミスの内容によっては、必要に応じて他部店へ公開

オペレーショナル・リスク管理態勢

- ・金融機関内の弱点、問題点を把握、分析し未然防止に努めているか

反社会的勢力／疑わしい取引の登録からチェック

- ①確かな情報源から入手した反社会的勢力情報／凍結口座名義人情報、及び疑わしい取引を登録
- ②公開された情報を検索し、新規顧客の申込内容確認時に照合チェック
- ③反社会的勢力、疑わしい取引情報 等と、既存の顧客情報とを一括突合チェック

法令等遵守態勢

- ・反社会的勢力との関係を遮断するための態勢を整備しているか
- ・凍結口座名義人情報とチェックしているか
(2012年9月より警察庁より配布)

融資案件／謝絶案件の管理

- ①融資案件は全権登録、謝絶案件についてはその内容及び理由を本部に報告
- ②本部では関連部門の意見を含めて取り纏めを行い、委員会、経営に報告
- ③本部にて、謝絶案件の交渉状況を把握可能

融資謝絶管理態勢

- ・中小企業金融円滑化法(2013年3月末迄)に制定された必要な措置/体制を整備しているか

e-VoiceEX 情報の登録 から 集計／分析



種類毎の情報管理

電子メール／紙ベースでの報告では、情報の内容に過不足が出来ますが、情報に形式を持つ事ができるようになります。
多くの項目を選択方式で入力できます。



区分マトリックス

各種情報毎に自由に区分を選択して、マトリックスを表示でき、その内容をテキストファイルに出力する事もできます。

情報種類毎に区分設定が可能

各種情報毎に、集計／分析の要望に合わせて、任意に区分設定をユーザーがおこなえます。



報告、登録される情報が定型化されます。

集計された情報の分析を、種類毎の統括部署で容易におこなえます。

各委員会等の報告準備に係る時間が大幅に短縮できます。

WebAction管理システム
e-VoiceEX

苦情情報
事務ミス情報
反社会的勢力／疑わしい取引／凍結口座名義人情報
融資案件／謝絶案件 の他

利益相反、情報漏洩、出納過不足、交通事故、提案事項 等

最大15種類の報告業務を独立して管理する事が可能です。

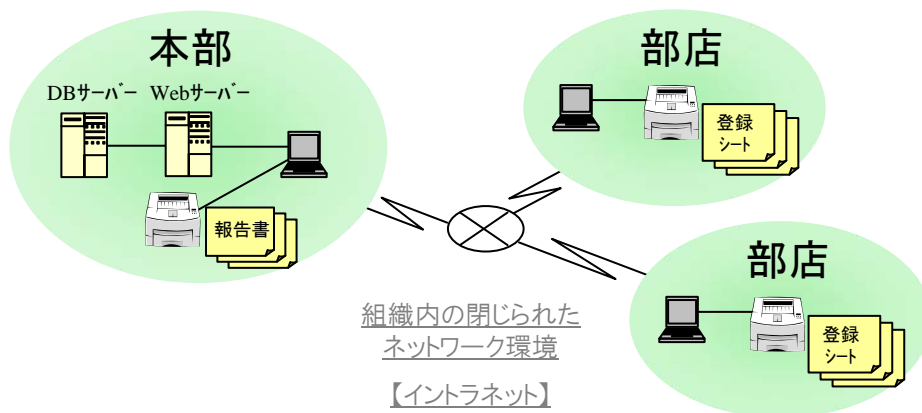
サーバー

- ・Windows Server が稼動可能なサーバー
- ・WWWサーバーは IIS (Internet Information Service) を使用
- ・データベースは Oracle もしくは Microsoft SQL Server 版共にあります (Express版 でも可)

クライアント

- ・Internet Explorer6.0以上が稼動可能な Windows PC (Windows8 も対応予定)
- ・帳票印刷の為のプリンター

e-VoiceEX システム要件



開発元

株式会社 ハルト

販売元:株式会社アルファシステム
〒444-1153 安城市東町荒井25番地
TEL:0566-73-7015 FAX:0566-99-6708
E-mail: info@alpha-sys.co.jp
URL: <http://www.alpha-sys.co.jp/>